



子葉 志子 (公明党)

災害に強いまちづくり・高齢者支援・自主財源の確保について

問 環境の整備について

答 毎年多発する災害へ備える企業との協定の進捗状況は。

問 約50件の災害協定を締結しています。ライフライン施設の応急復旧対策、水・食料・燃料等の調達供給、輸送保管、非常電源の確保、新たな避難スペースの確保など対策の強化・拡充を進めます。

問 安全・安心な対応強化について

答 地域防災支援のために気象防災アドバイザーの導入の考えは。

問 市民への迅速かつ的確な情報伝達のため、検討します。

問 防災アドバイザーとの協議会の創設の考えは。

答 地域防災力向上のため、創設・運営方法等を検討します。

問 要支援者への支援について

答 避難行動要支援者の『個別避難計画』は。

問 今後、作成の準備を進めます。土のうの整備について

答 今後、研究・検討します。

問 環境に配慮した土のう袋の活用の考えは。

答 今後、研究・検討します。

問 損害賠償の保険事業について

答 認知症の人がトラブルや事故を起こした際の救済制度の導入の考えは。

問 家族の不安解消や負担軽減に繋がるので、調査・研究します。

その他、1項目について質問しました。



企業との災害協定の締結（報道写真）



おみ たみ (新進党)

安中市総合計画におけるドローン活用事業について

問 安中市総合計画におけるドローン活用事業について

答 導入の経緯は。

問 上空からの映像を撮影する分野において小型ドローン使用の可能性を研究したところ、各分野での活用の可能性があることから、市で所有し活用する計画としました。

問 導入を予定している機体とは。

答 大きさ40センチ程度程度の小型機ですが、写真や動画の撮影が可能で様々な機能を有しており、業務委託で使用していた事業以外にも様々な活用ができると考えています。

問 今後、災害時におけるドローン活用については。

答 災害時における地方公共団体には、航空法の規制を受けることなく飛行が許可されています。今後、災害時の活用に関しても関係部署と協議を進めます。

問 閉校に関しての施設利活用促進に

答 松井田南中学校を教職員の研修施設として活用、臼井小学校は、旧西中学校保管の埋蔵文化財を移し、安中資料館の展示資料も一時的に保管、九十九小学校は、特徴的な構造を活かし多世代交流施設など、立地を活かした利活用が考えられます。

その他、本市全体としての廃校施設の活用について質問しました。

閉校に関しての施設利活用促進に



地域から速やかな利活用が望まれる閉校後の学校施設